

令和6年度 水稲病害虫発生予察事業 調査野帳

【調査1班】

調査日：2024年7月19日（金）

No.	地区名	葉いもち病							紋枯れ病						
		25株中の発病数（株）					発病度（%）	発病程度	25株中の発病数（株）					発病度（%）	発病程度
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E		
1	下鶴井				1	24	1	少					25	0	無
2	木内				1	24	1	少					25	0	無
3	福成寺					25	0	無				1	24	1	少
4	気比					25	0	無			2	20	3	24	中
5	気比つきあかり					25	0	無					25	0	無
6	来日					25	0	無					25	0	無
合計		0	0	0	2	148			0	0	2	21	127		

【計算式】 発病度＝ $\frac{4A + 3B + 2C + D}{4 \times \text{調査株数}} \times 100$

葉いもち病
A： 下葉は枯死し、完全なズリコミ症状を呈する（病斑50%以上）
B： かなり病斑がみられ、軽いズリコミ症状を呈する（病斑10%程度）
C： 病斑がかなりみられる（病斑2%程度）
D： 病斑がわずかにみられる（病斑0.5%程度）
E： 病斑なし

紋枯れ病
A： 株の半数以上の茎が発病、止葉から穂首まで侵され、止葉は枯死状態を呈する
B： 株の半数以上の茎が発病、大部分の病斑が止葉まで達しているが止葉は生色がある
C： 株の半数以上の茎が発病、大部分の病斑が第2葉鞘まで達している
D： 病斑が第3葉鞘まで達している
E： 全く病斑を認めない、または第4葉鞘以下の発病

発病程度について	
発病度（%）	発病程度
71以上	甚
41～70	多
21～40	中
1～20	少
0	無

No.	地区名	セジロウンカ				トビイロウンカ				カメムシ類			備 考
		すくい取り又は払い落とし				すくい取り又は払い落とし				すくい取り又は払い落とし			
		幼虫数 （匹）	成虫数 （匹）	1株当たり 虫数（匹）	発生程度	幼虫数 （匹）	成虫数 （匹）	1株当たり 虫数（匹）	発生程度	幼虫数 （匹）	成虫数 （匹）	合計数 （匹）	（その他特記事項）
1	下鶴井		1	0.1	微			0	無			0	
2	木内		3	0.3	微			0	無			0	
3	福成寺			0	無			0	無		1	1	ホソハリカメムシ成虫1
4	気比		1	0.1	微			0	無			0	イナズマヨコバイ成虫1
5	気比つきあかり			0	無			0	無	2	1	3	クモヘリカメムシ幼虫2、成虫1
6	来日			0	無			0	無			0	
合計		0	5	0		0	0	0		2	2		

記入内容について ※1株当たり虫数：（幼虫数＋成虫数）/10

セジロウンカ	1株当たり虫数	0	0.1～0.9	1～10	11～50	51以上
	記入内容	無	微	少	中	多

トビイロウンカ	1株当たり虫数	0	0.1～0.9	1～5	6～20	21以上
	記入内容	無	微	少	中	多

令和6年度 水稲病害虫発生予察事業 調査野帳

【調査2班】

調査日：2024年7月19日（金）

No.	地区名	葉いもち病							紋枯れ病						
		25株中の発病数（株）					発病度 （%）	発病程度	25株中の発病数（株）					発病度 （%）	発病程度
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E		
7	二連原					25	0	無					25	0	無
8	三原					25	0	無					25	0	無
9	竹野					25	0	無					25	0	無
11	府市場					25	0	無					25	0	無
12	府中新つきあかり					25	0	無					25	0	無
15	竹貴					25	0	無					25	0	無
合計		0	0	0	0	150			0	0	0	0	150		

【計算式】 発病度＝ $\frac{4A + 3B + 2C + D}{4 \times \text{調査株数}} \times 100$

葉いもち病
A： 下葉は枯死し、完全なズリコミ症状を呈する（病斑50%以上）
B： かなり病斑がみられ、軽いズリコミ症状を呈する（病斑10%程度）
C： 病斑がかなりみられる（病斑2%程度）
D： 病斑がわずかにみられる（病斑0.5%程度）
E： 病斑なし

紋枯れ病
A： 株の半数以上の茎が発病、止葉から穂首まで侵され、止葉は枯死状態を呈する
B： 株の半数以上の茎が発病、大部分の病斑が止葉まで達しているが止葉は生色がある
C： 株の半数以上の茎が発病、大部分の病斑が第2葉鞘まで達している
D： 病斑が第3葉鞘まで達している
E： 全く病斑を認めない、または第4葉鞘以下の発病

発病程度について	
発病度（%）	発病程度
71以上	甚
41～70	多
21～40	中
1～20	少
0	無

No.	地区名	セジロウンカ				トビイロウンカ				カメムシ類			備 考
		すくい取り又は払い落とし				すくい取り又は払い落とし				すくい取り又は払い落とし			
		幼虫数 (匹)	成虫数 (匹)	1株当たり 虫数(匹)	発生程度	幼虫数 (匹)	成虫数 (匹)	1株当たり 虫数(匹)	発生程度	幼虫数 (匹)	成虫数 (匹)	合計数 (匹)	(その他特記事項)
7	二連原			0	無			0	無			0	ヒメトビウンカ成虫1
8	三原			0	無			0	無			0	ヒメトビウンカ成虫1
9	竹野			0	無			0	無	1		1	ヒメトビウンカ幼虫15成虫41、ツマグロヨコバイ成虫3、アカスジカメムシ幼虫1
11	府市場		1	0.1	微			0	無			0	ヒメトビウンカ幼虫1成虫1
12	府中新つきあかり			0	無			0	無		1	1	ヒメトビウンカ成虫1、アカスジカメムシ成虫1
15	竹貴			0	無			0	無			0	ヒメトビウンカ幼虫4
合計		0	1			0	0			1	1	2	

記入内容について ※1株当たり虫数：（幼虫数＋成虫数）/10

セジロウンカ	1株当たり虫数	0	0.1～0.9	1～10	11～50	51以上
	記入内容	無	微	少	中	多

トビイロウンカ	1株当たり虫数	0	0.1～0.9	1～5	6～20	21以上
	記入内容	無	微	少	中	多

令和6年度 水稻病害虫発生予察事業 調査野帳

【調査3班】

調査日：2024年7月19日（金）

No.	地区名	葉いもち病							紋枯れ病						
		25株中の発病数（株）					発病度 （%）	発病程度	25株中の発病数（株）					発病度 （%）	発病程度
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E		
10	栗山					25	0	無					25	0	無
13	栃本					25	0	無					25	0	無
14	山田					25	0	無					25	0	無
16	袴狭					25	0	無					25	0	無
17	三木					25	0	無					25	0	無
18	榎見					25	0	無					25	0	無
合計		0	0	0	0	150			0	0	0	0	150		

【計算式】 発病度＝ $\frac{4A + 3B + 2C + D}{4 \times \text{調査株数}} \times 100$

葉いもち病
A： 下葉は枯死し、完全なズリコミ症状を呈する（病斑50%以上）
B： かなり病斑がみられ、軽いズリコミ症状を呈する（病斑10%程度）
C： 病斑がかなりみられる（病斑2%程度）
D： 病斑がわずかにみられる（病斑0.5%程度）
E： 病斑なし

紋枯れ病
A： 株の半数以上の茎が発病、止葉から穂首まで侵され、止葉は枯死状態を呈する
B： 株の半数以上の茎が発病、大部分の病斑が止葉まで達しているが止葉は生色がある
C： 株の半数以上の茎が発病、大部分の病斑が第2葉鞘まで達している
D： 病斑が第3葉鞘まで達している
E： 全く病斑を認めない、または第4葉鞘以下の発病

発病程度について	
発病度（%）	発病程度
71以上	甚
41～70	多
21～40	中
1～20	少
0	無

No.	地区名	セジロウンカ				トビイロウンカ				カメムシ類			備 考
		すくい取り又は払い落とし				すくい取り又は払い落とし				すくい取り又は払い落とし			
		幼虫数 (匹)	成虫数 (匹)	1株当たり 虫数(匹)	発生程度	幼虫数 (匹)	成虫数 (匹)	1株当たり 虫数(匹)	発生程度	幼虫数 (匹)	成虫数 (匹)	合計数 (匹)	
10	栗山			0	無			0	無		3	3	ヒメトビウンカ幼虫1成虫1、ツマグロヨコバイ成虫1、クモヘリカメムシ成虫3
13	栃本		1	0.1	微			0	無		3	3	ヒメトビウンカ成虫1、ホソハリカメムシ成虫2、アカスジカメムシ成虫1
14	山田			0	無			0	無		1	1	ヒメトビウンカ幼虫20成虫8、ツマグロヨコバイ幼虫2、ホソハリカメムシ成虫1
16	袴狭		1	0.1	微			0	無	1	5	6	ヒメトビウンカ成虫1、ツマグロヨコバイ幼虫2成虫2、イネカメムシ成虫5、ホソハリカメムシ幼虫1
17	三木			0	無			0	無			0	ヒメトビウンカ幼虫1成虫1
18	榎見		1	0.1	微			0	無		3	3	ヒメトビウンカ成虫2、イナズマヒメヨコバイ成虫1、ツマグロヨコバイ幼虫1成虫1
合計		0	3			0	0			1	15	16	

記入内容について ※1株当たり虫数：（幼虫数＋成虫数）/10

セジロウンカ	1株当たり虫数	0	0.1～0.9	1～10	11～50	51以上
	記入内容	無	微	少	中	多

トビイロウンカ	1株当たり虫数	0	0.1～0.9	1～5	6～20	21以上
	記入内容	無	微	少	中	多

令和6年度 水稲病害虫発生予察事業 調査野帳

【調査4班】

調査日：2024年7月19日（金）

No.	地区名	葉いもち病							紋枯れ病						
		25株中の発病数（株）					発病度（%）	発病程度	25株中の発病数（株）					発病度（%）	発病程度
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E		
19	畑					25	0	無					25	0	無
20	相田					25	0	無					25	0	無
21	久畑					25	0	無					25	0	無
22	久畑つきあかり					25	0	無					25	0	無
23	三原					25	0	無					25	0	無
24	坂野					25	0	無					25	0	無
合計		0	0	0	0	150			0	0	0	0	150		

【計算式】 発病度＝ $\frac{4A + 3B + 2C + D}{4 \times \text{調査株数}} \times 100$

葉いもち病
A： 下葉は枯死し、完全なズリコミ症状を呈する（病斑50%以上）
B： かなり病斑がみられ、軽いズリコミ症状を呈する（病斑10%程度）
C： 病斑がかなりみられる（病斑2%程度）
D： 病斑がわずかにみられる（病斑0.5%程度）
E： 病斑なし

紋枯れ病
A： 株の半数以上の茎が発病、止葉から穂首まで侵され、止葉は枯死状態を呈する
B： 株の半数以上の茎が発病、大部分の病斑が止葉まで達しているが止葉は生色がある
C： 株の半数以上の茎が発病、大部分の病斑が第2葉鞘まで達している
D： 病斑が第3葉鞘まで達している
E： 全く病斑を認めない、または第4葉鞘以下の発病

発病程度について	
発病度（%）	発病程度
71以上	甚
41～70	多
21～40	中
1～20	少
0	無

No.	地区名	セジロウンカ				トビイロウンカ				カメムシ類			備 考
		すくい取り又は払い落とし				すくい取り又は払い落とし				すくい取り又は払い落とし			
		幼虫数 （匹）	成虫数 （匹）	1株当たり 虫数（匹）	発生程度	幼虫数 （匹）	成虫数 （匹）	1株当たり 虫数（匹）	発生程度	幼虫数 （匹）	成虫数 （匹）	合計数 （匹）	（その他特記事項）
19	畑			0	無			0	無		1	1	ホソハリカメムシ成虫1
20	相田			0	無			0	無			0	
21	久畑			0	無			0	無		1	1	アカスジカメムシ成虫1
22	久畑つきあかり			0	無			0	無		2	2	トゲシラホシカメムシ成虫2
23	三原			0	無			0	無		4	4	クモヘリカメムシ成虫2、ホソハリカメムシ成虫2
24	坂野			0	無			0	無		4	4	ヒメトビウンカ幼虫17成虫8、ツマグロヨコバイ幼虫3成虫3、トゲシラホシカメムシ成虫4
合計		0	0			0	0			0	12	12	

記入内容について ※1株当たり虫数：（幼虫数＋成虫数）/10

セジロウンカ	1株当たり虫数	0	0.1～0.9	1～10	11～50	51以上
	記入内容	無	微	少	中	多

トビイロウンカ	1株当たり虫数	0	0.1～0.9	1～5	6～20	21以上
	記入内容	無	微	少	中	多